

「西安交通大学サマースクール参加報告書」

京都大学工学部・地球工学科2年 黒崎 直哉

- 1 今回参加した西安交通大学サマースクールを通して、私は中国という国を知ることができました。8月にも中国へ行きましたが、その時は中国の中でも発展していない地域へ行ったので、今回の交換留学を通して中国のそれなりに発展している地域をみて、発展していない地域と発展している地域を比較することができました。その比較を通して、高校の時から興味があった中国への理解が深まり、さらに中国語や中国の文化を学ぼうという意欲がわきました。また、現地の方々との交流を通して今まで日本のニュースや記事でしか見てこなかった中国の実態を知ることができ、日本で形成した中国への偏見を見直すことができました。
- 2 今回のサマースクールでは、中国の古都である西安を観光し、中国の文化や歴史を学ぶことができた。また、西安交通大学による中国語の授業により中国語を学ぶこともできました。今回の交換留学の中でとりわけ印象に残ったことは兵馬俑です。兵馬俑を見ることで中国の歴史の深さやスケールの大きさを実感することができました。京都にもこのような歴史的遺産は多く残されていますが、兵馬俑ほどスケールの大きいものはありません。また、西安の町を自由に歩き回ることによって中国の建築物の立て方や道路の舗装など、町全体の作りを学ぶこともできました。
- 3 今回の交換留学のプログラムは午前中に西安交通大学による中国語学習を行い、午後は西安の歴史的な遺産を見学するものでした。西安で見学した歴史的な遺産は、兵馬俑、西安交通大学の博物館にある絵や衣装。その他、多くの歴史的建造物を見ました。また西安交通大学の学生が常に付き添ってくれたので、中国人の大学生との交流も行うことができ、中国の大学の様子やその中で勉学に励む中国人学生の生活を経験し学ぶこともできました。
- 4 今回の交換留学を通して、私は中国への興味がさらに深まり、これからも中国語や中国の文化、中国人との交流を続けていきたいと思いました。また、自ら勉強している中国語をさらにきわめて、将来は自分の専門と中国語が関係した進路に進みたいと思います。具体的には、私は工学部に所属しているので中国を相手にした研究者になり中国と日本との関係を改善するきっかけとなるような人材になりたいです。また、個人的な趣味として中国を旅行し中国への理解をさらに深めようと思います。